

下水道

供用開始に伴う受益者負担は

受益者負担金は徴収しない

問 下水道の一部供用開始を目指して整備を進めていることは喜ばしい。今回の供用開始区域は、

7月に開館予定の山田町ふれあいセンターも区域に含まれるか。

佐藤町長 山田処理区の一部供用開始区域は、津波復興拠点地域である山田中心市街地エリア、県立山田病院を含む公共防

災エリア、織笠高台団地および織笠土地区画整理事業区域内である。

問 山田町ふれあいセンターも区域に含まれる。受益者負担金の取り扱いは。

町長 震災後は、住宅再建に対する費用負担を軽減するため、受益者負担金を徴収しないこととしている。



歩行者の安全確保のためにも歩道が必要です（大沢地区）

荒神海水浴場道路整備は

整備手法等を検討する

問 荒神海水浴場道路について、観光推進と避難対応を考えた場合、海水浴場からNHKラジオ中継局までの道路について、早急に拡張整備すべきと考えるが。

町長 現在道路改良整備の概算事業費を算出するため、概略設計業務を発注している。その結果を踏まえ、整備手法等について検討する。

大沢地区

歩道設置が必要では

今後も継続して要望していく

問 主要地方道重茂半島線の早期開通に合わせ、起点付近となる国道45号の大沢新開地区から山谷方面に向かった右側に歩道の設置が必要と考えるが。

町長 国道45号の大沢新開地区から山谷方面に

向かった右側の歩道設置については、歩行者の安全を確保するためにも必要であると考えている。これまでも三陸国道事務所に対し設置の要望をしているが、今後も継続して要望していく。



議員 菊地光明
(新 生 会)

その他の質問

- ◆ 地域商社の設立目的は
- ◆ 高台団地取得への支援策は
- ◆ 海洋センター育成士の配置計画は

一般質問